

平成 30 年度 福祉教育推進フォーラム 開催要項

1 目 的

少子高齢化や人口減少など、地域社会を取り巻く環境が変化するなか、国では地域共生社会の実現を掲げており、誰もが社会参加できる地域づくりを推進する福祉教育の重要性がますます高まっています。福祉教育では、多様な地域課題などを根源に、そこに暮らし、これからも暮らし続けていく私たちの地域を考えてきました。様々な人が地域福祉について関心を持ち、主体的に活動できるような学びが求められています。

こうした考え方は、社会福祉協議会が中心に取り組む福祉教育のみならず、公民館活動に代表される社会教育の活動など地域活動の様々な分野においても、同様の考え方で多様な活動が展開されています。福祉教育を推進する社会福祉協議会の立場から社会教育との協働を考えることは、地域で協働する仲間を増やすことや、活動の広がりなどが期待できます。

本フォーラムでは、社会福祉協議会と社会教育、二つの「しゃきょう」が協働することで広がる地域の福祉教育の可能性について考えます。

2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会

3 企画協力 平成 30 年度 福祉教育の推進に関する研究会

4 日 時 平成 30 年 8 月 10 日（金）10 時 30 分～15 時 30 分

5 会 場 安曇野市豊科ふれあいホール（安曇野市豊科 4 1 5 6 -1）

6 対 象 社会福祉協議会職員、社会教育関係者、公民館関係者、学校関係者

福祉教育・社会教育に関心のある地域の方 など 100 名

7 内 容（予定） ※受付開始 10:00

時 間	内 容
10:30	開会
10:40	基調講演「福祉教育が目指し続けるもの」 地域を基盤に実践する福祉教育の考え方や理念を改めて学び、福祉教育が目指し続けるものを共有します。 講師：原田正樹 氏 (日本福祉大学学長補佐 / 日本福祉教育・ボランティア学習学会会長)
12:00	昼食・休憩
13:00	トークセッション「2つの『しゃきょう』の協働を考えてみる」 福祉教育を推進する社会福祉協議会と社会教育（公民館活動等）が目指す地域づくりの実践を通して、2つの「しゃきょう（社協・社教）」の接点と協働のあり方を皆さんと考えます。 ■小池 玲子 氏（長野県社会教育委員連絡協議会 / 諏訪地区社会教育委員連絡協議会会長） ■今城 治子 氏（軽井沢町サクラソウ会議） ■山岸 久美子 氏（安曇野市社会福祉協議会） コーディネーター：下倉 亮一 氏（長野県長寿社会開発センター） コメンテーター：原田 正樹 氏（再掲）
14:20	休憩
14:30	グループワーク
15:00	まとめ 原田 正樹 氏（再掲）
15:30	閉会

8 申込方法

別紙参加申込書により、7月30日(月)までにFAXまたはE-Mailによりお申込みください。
参加申込書は本会ホームページ (<http://www.nsyakyo.or.jp>) からダウンロードできます。

9 その他

- (1) 昼食は各自ご用意ください。
- (2) 福祉教育(社会教育)に関する教材、取組事例集など参加者の所属団体等で作成したものがあればぜひお持ちください。

10 問合せ先

長野県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉グループ
(まちづくりボランティアセンター)

TEL : 026-226-1882 FAX : 026-228-0130 E-Mail : vcenter@nsyakyo.or.jp

会場案内地図



※ ふれあいホールの駐車場と、はす向かいの医師会館の駐車場をご利用ください。

※ 駐車場の数に限りがあるため、ぜひ乗り合わせでお越しください。